

浦安市児童家庭課と父母の会懇談会議事録

開催場所：浦安市富岡公民館 3階 第一練習室

日時：平成12年11月29日(水)

出席者

児童家庭課：浅井課長、小滝課長補佐、井上係長、大塚副主査、小林副主査

保護者：当代島保育園父母の会、猫実保育園父母の会、東野保育園父母の会、富岡保育園父母の会、入船保育園父母の会、日の出保育園父母の会、高洲保育園父母の会、学童クラブ父母の会代表

議事内容

児童家庭課浅井課長より、父母会からの要望事項に対し以下のコメントがあった。

1. 前年度からの要望事項

1.1 保育内容について

(1) 複数担任については、担任増ではなく、各園でのフリー保育師の効率的な活用を考えるよう検討していく。

(2) 保母と園児の対数の見直しは、近隣の自治体との比較が全てとは考えていないが、1つの尺度であり、重要度は高い。市では、不十分だとは思わない。2歳児から3歳児への対数については、フリー保育士で対応し、その他の問題点は、考えていきたい。

1.2 保育料について

浦安市の保育園施設・職員の体制面で他市と比較すると、保育料は相当の金額だと考えられる。したがって、値上げはあっても、値下げは考えていない。平成5年に保育料の改定を行い、平成6年から今の金額になっている。将来的には物価上昇と合わせて値上げを考えていかなければならない。但し、当面、急な値上げはない。

1.3 時間外保育について

(1) 産休明け保育の時間外保育は、必要性があると考え、今後検討していきたい。

(2) 土曜日の時間外保育のニーズは平日の37.8%、4時以降でみると22.5%である。これを全保育に対する割合で見ると8.5%であるが、時間外保育料の徴収も含め、今後検討していきたい。

1.4 給食、おやつ改善について

(1) 内容の充実については、引き続き努力していきたい。

- (2) 時間外のおやつについては、これにより、夕飯を食べない等の意見もあり、また、給食の経費を考え、時間内の給食・おやつを優先する。
- (3) 食物アレルギー症状の対応については、0歳児においては、個別献立で対応し、1歳児以降は除去食、代替食で対応している。
- (4) 外部委託については、基本的には園の給食施設で作り、栄養士は市の職員という考えは変えないが、調理のみを民間に委託することは検討中である。

1.5 市内保育園の施設の均一化について

猫実保育園はS54年、高洲保育園は平成11年と設園に20年の差があるので、全て均一化というのは困難であるが、必要な管理・補修は毎年行っている。今年は、少子化対策特例交付金の対象園として、猫実・富岡（電器設備工事）、入船（改修工事）の3園の工事をH12.12月以降 H13.3月までに完了する予定である。（詳細は後述）

1.6 保育園の増設について

事業として分園の設置と、幼保の共通化を含め、今後考えていきたい。

1.7 入園予約制度について

現状は待機児が多いため困難。

1.8 病児保育について

来年1月15日号の広報うらやすにて、子育て支援の特集を組み、病後児保育についても利用状況等を含め紹介する。また、12月11日から1週間、SNUでも放映する予定である。利用案内は各園にも備えてあるので各自で取り寄せてほしい。

次に、登園中の園児の体調が悪くなり、父母が直ちに迎えにいけない場合に備えて、近隣の医療機関と連携をとってなんらかの救済措置への要望については、子供の病気は変化しやすいため、園で安静にし、発熱の場合は冷やす対応をするが、基本的には保護者に迎えにきてもらうことが一番と考えている。保健室の設置についてはスペース的に困難である。

伝染性の長期にわたる病児保育については、症状が安定していれば、今の施設（パンダルーム）で預かることは可能。ただし原則7日以内である。

1.9 少子化対策特例交付金について

備品購入に100万円、簡易保育所整備補助等に440万円、入船の内部改修工事に6、100万円、猫実・富岡の電気設備改修工事に2、500万円の予算を活用する。

1.10 学童クラブの今後の方針について

来年度、学童クラブの所管を、青少年課から児童家庭課へ移す計画はすすんでいる。他市の

状況をみながら（民営化等も含め）、又、内部的に人員増や、財政面で条件を出し、運営に望みたい。学童の保育時間についても、終了時刻を現在の18時から19時まで延長し、保育園と同じ状況にできないかどうか検討したい。

2.新規要望事項

2.1 設備の改善について

高洲の浸水についてはまずお詫びを申し上げたい。当日朝8時過ぎに園から電話があり、園へ直行した。保育士および児童家庭課が全員体制で対応し、業者もすぐ呼んですぐ修繕させた。

雨が降ると心配で、その都度足を運び確認しているが、今は大丈夫だと思う。

降雨時のバリアフリー構造の考慮不足が、浸水を招いてしまったと思う。今後は、他の施設を作る場合も今回の事例を考慮していきたい。

2.2 入園申請手続きについて

(1) 入園申請から決定までの短縮については、現在、入園前の前月の10日に受付、15日申請、内定者に連絡、園で面接後入園決定、という流れになっている。退園者の把握が難しいこともあり、現在短縮するのは困難である。

(2) 入園決定は保育の施行規則に基づいて、児童家庭課課長、係長と各園の園長等5名程度で審査して行っている。

2.3 保育中の事故について

保育中の事故により、5千円以上の医療費がかかった場合は日本体育健康センターから、5千円未満の場合は浦安市の予算から園児負傷見舞金で実費精算する。但し、給付されるまで約1か月かかるため、園に立替を依頼する場合もある。

2.4 保育料算出に関する質問

収入階層別の算定根拠については、国の基準に合わせ、浦安市は20の階層別にA、B、C、Dのランクに分けて算出している。

他市は18～25階層ぐらい。国は7階層でS61年までは17階層だったが簡略化された。

浦安市は平成6年より保育料を据え置き、他市より安くなっている。

上記に関して井上係長より以下の補足説明

1.8 病児保育について

利用日数は原則7日間以内。あまり長期、長時間での保育は好ましくないという国の考え方に基づいている。設置数は増やす計画である。

1.9 少子化対策特例交付金について

・入所円滑化備品購入代 - 100万円：着手済み

簡易保育所等設備整備補助金（定員で金額を設定し 50 人未満 - 20 万円、50 人以上 100 人未満 - 40 万円、100 人以上 - 60 万円） - 440万円：予算には至っていないが終了。

猫実・富岡保育園電気設備改修事業（2500万円）

猫実築21年、富岡築17年と、電気設備の改修が必要になっている。工事内容は比較的容易なため、日祭、土曜の夜等休みの期間に集中して行う予定。園児に影響はないと考える。

・入船保育園改修事業（6100万円）

入船は築20年、電気設備はもちろん、内装のひび割れも見られるため、以下の改修を予定している。（内装クロス張替え、0歳児おむつロッカー新設、照明度アップ、0～1歳児室の空調改修、遊戯室の空調新設、調理室のスポットエアコン（全品を冷やす）新設）

工事については12月2日（土）1時半から父母会と話し合いを行う予定。

工程として、ある程度の設備がある仮園舎を作り、2階から1部屋ずつ改修スタート。1部屋に1週間から10日間かかるので、3歳児、4歳児は工事の間ホールで過ごし、5歳児の時に仮園舎が完成するので、5歳児は仮園舎で過ごし、5歳児部屋とホールを工事する。終了後、仮園舎に0歳児が入り、1、2歳時と順送りに工事する。

児童家庭課浅井課長より保育に関するアンケートについて

児童家庭課の職員に対して悪口ともとれる批判的意見があったが、父母会全員に回覧されると、誤解を受けやすいので気をつけてほしい。

また、「障害児保育は最悪」との意見があり、非常に心外である。誤解のないようにしてほしい。建設的な批判は受けるが、悪口は止めていただきたい。

これに対し、保育フォーラムから.....

意見欄の提出をするのは初めて。好ましくない意見もあるが、一部の情報だけでなく正直な生の声を届けたかった。むしろ気を悪くされたらお詫びしたい。

テーマ - 分園についての質疑応答

現在の状況についての説明 - 浅井課長

話は進めている。待機児の解消を最優先として考えていて、場所・施設を検討した結果、小・中

学校よりは幼稚園が好ましいという結論に達している。待機児の多い地区など考慮しているが、教育委員会のハードルが高く難航している。

足がかりとして、1園ずつ来年度の予算にのせる計画である。ただし、1分園を作っても待機児がすぐに解消されるわけではない。

又、分園を幼稚園につくるにあたっては、幼稚園の先生、PTAや地域の人たちはどう思うのか、実際よくわからないし、園児たちに肩身の狭い思いをさせたくないのも、幼稚園と保育園の交流を深め、市の中の討議だけでなくすすめていきたい。

Q：施設の共有とのことですが、給食室の問題や幼稚園と保育園の保育による施設の違いはどうするのですか？幼稚園での分園は決定なのですか？（父母の会）

A：給食の問題では、給食室の設備が難しく、ほとんど改装しなければならない。0歳児の小さなトイレ等々、簡単にはできないし、金銭的にもかかる。幼稚園の転用は教育委員会への諸届けが必要等いろいろと複雑であり、困難であるが、幼稚園での分園は決定である。（市）

Q：29名以下で救急箱1コあればいいという、国の分園の基準が貧弱であるが、分園とはいえ、普通の保育園と同じように、国の基準ではなく市の基準を設けてほしい。（父母の会）

A：園長は不在だが、副園長クラスは常勤になるなど、国の分園基準ではなく保育園としての現在の水準は下げないつもりである。（市）

Q：市として分園について、明確なことを聞きたい。（父母の会）

A：浅井課長

分園のイメージとして、

幼稚園の2F、外階段（非常階段）を園の通路とし、幼稚園とは別の小さな玄関を作る。

上4部屋のうち3部屋の使用しか認められないため、2部屋を保育室に、もう1部屋を職員室・保健室・更衣室にする。

20㎡ある調理室を改修し、給食室を作る。

全ての改修および増設で4桁程度のお金が必要であろう。

又、29名なら6部屋は欲しいが...全ての年齢の待機児がいるため、0～5歳までを統合でやらざるを得ない。分けには悩んでいるが、未満児クラスと以上児クラスの2クラスの異年齢児保育になるであろう。

待機児は元町地区に多く、保育園を新設する土地もない。

幼稚園の余裕教室は、問題点も多く、安易にできないので、大阪や神奈川の近隣の小・中学校を使った分園の視察もしている。

机上で考えてもできないし、初めからレールを引くのは難しい。少しずつやっていく。

要望：保育の水準を下げないで欲しい。親園と分園との距離は 30 分以内という規定があるが、子供たちの足ではかなりの距離になる。保育の内容・質に不公平差が生じるのではないか。親園との関係を希薄にして欲しくない。又、兄弟で本園と分園に分かれた場合の父母のリスクも考えてほしい。
(父母の会)

A：分園と親園との関係、また幼稚園との交流については心配している。(市)

Q：分園は待機児が入るのか？(父母の会)

A：分園をどこに作るかによる。どうやって募集するかは決まっていない。(市)

要望：具体的に話が決まってから、市民も交えて話し合いをしてもらいたい。(父母の会)

A：場所等がある程度決まったら、幼稚園との共存ということで、地域の人々や幼稚園側、幼稚園 PTA も含め話し合いたい。(市)

要望：日の出保育園は幼稚園との交流を行っている。幼稚園は、対数が 1：35～36 と、園の中に先生が 4 人しかおらず、保育園より少ない。むしろいい方向に考えて、それぞれを一緒にし、子供、親共に区別しない、共存していけるような環境をつくることは可能だと思う。私共の意見をできるだけ吸い上げていただき、よりよいものにしてほしい。

幼保一元化について

浦安市の幼稚園・保育園の施設の共用化検討委員会が H13 年 9 月 1 日に発足。

事務局は児童家庭課、委員長に助役、副委員長に教育長・人事総務部長

幼保一元化は、施設の共用化を図る。幹事会として、幼稚園・保育園の互いの園長も含め、まずは、お互いの比較の話し合いからすすめている。(今まではなかった)月 1 ペースで来年の 7 月までに今後の方向性を出す。

視察から

大阪府交野市 - 幼児園の短時部・長時部

(幼児対策室が対応。幼稚園は義務教育ではないという市民のパワーでそうなった様子。)

滋賀県余呉町 - 養護幼児園の短児部・長児部

秋葉原のいずみ小学校 - 幼稚園と保育園が一緒

異なるものを同じようにしていかなければいけないと考えている。

幼稚園・保育園と資格をとっても幼稚園教諭・保育師と異なってはいるが、時代の流れとしては、同じ方向に行くのではないか。

その取り掛かりとして浦安市児童家庭課は分園を考えている。

幼保一元化を実際に行い、成功しているところもあるので、慎重に早期待機児解消を目指し、すすめていきたい。